

# 北陸管内における農業農村整備事業の概要

---

令和7年2月26日  
農林水産省 北陸農政局

# 目 次

---

1. 北陸農業の概要	.....	1
2. 北陸管内の農業農村整備事業の課題と取組	.....	10

# 1. 北陸農業の概要

---

# 1. 北陸農業の概要

北陸農政局管内(新潟県、富山県、石川県、福井県)の耕地面積は約304,700ha(令和5年)で、全国の7.1%を占めています。このうち約9割が水田となっています。

地形は、日本海に面して細長く、新潟県から福井県まで東西400kmに及び、背後に急峻な山々が迫っています。気候は、夏季は高温・多照である一方で、冬季は多雪・寒冷で日照時間は太平洋側と比べて半分程度と少なく、特に新潟県の上越・中越地方や山間部は豪雪地帯となっています。

水・土壌条件に恵まれ、全国有数の良質米産地となっており、令和4年の管内の農業産出額に占める米の割合は56.6%で全国の15.5%を占めています。

## ー新潟県の概要ー

耕地面積は全国2位、米の生産量は全国1位となっています(令和5年産)。

米を主体としつつ、砂丘地から山間高冷地まで特色ある気候風土を活かし、多種多様な野菜、果樹、花きの生産が行われています。

また、えだまめ(くろさき茶豆(GI登録産品))、津南の雪下にんじん(GI登録産品)、大口れんこん(GI登録産品)、西洋なし(ルレクチエ)、いちご(越後姫)、にいがた和牛などのブランド化を推進しています。



## ー富山県の概要ー

耕地面積のうち、95.2%を水田が占め、米が主体の営農が展開されており、特に集落営農組織への農地集積が進んでいます。

園芸作物の戦略品目を設定し、生産拡大に取り組み、たまねぎ、ハトムギ、ねぎなどの産地が形成されています。

また、水田の有効活用を図るため始まったチューリップ球根栽培は、国内有数の産地となっており、新品種の育成も盛んです。



## ー石川県の概要ー

県南部の加賀地域は、平坦部では米が主体で、海岸沿いの砂丘地帯では野菜、山間地では果樹の生産が盛んです。

一方、県北部の能登地域は、世界農業遺産にも登録されており、独特の気候、土壌を活かした野菜が生産されています。

また、ぶどう(ルビーロマン)、フリージア(エアリーフローラ)、日本なし(加賀しずく)などのブランド化を推進しています。



## ー福井県の概要ー

福井県が発祥であるコシヒカリを中心とした米を主体とし、転作作物として、作付面積全国1位(令和5年産)の六条大麦、大豆、そばなどが生産されています。

県北部海岸沿いの砂丘地帯では、すいか、らっきょう、西南部ではうめが栽培されています。

また、吉川ナス、山内かぶら、上庄さといもなどがGIに登録されています。



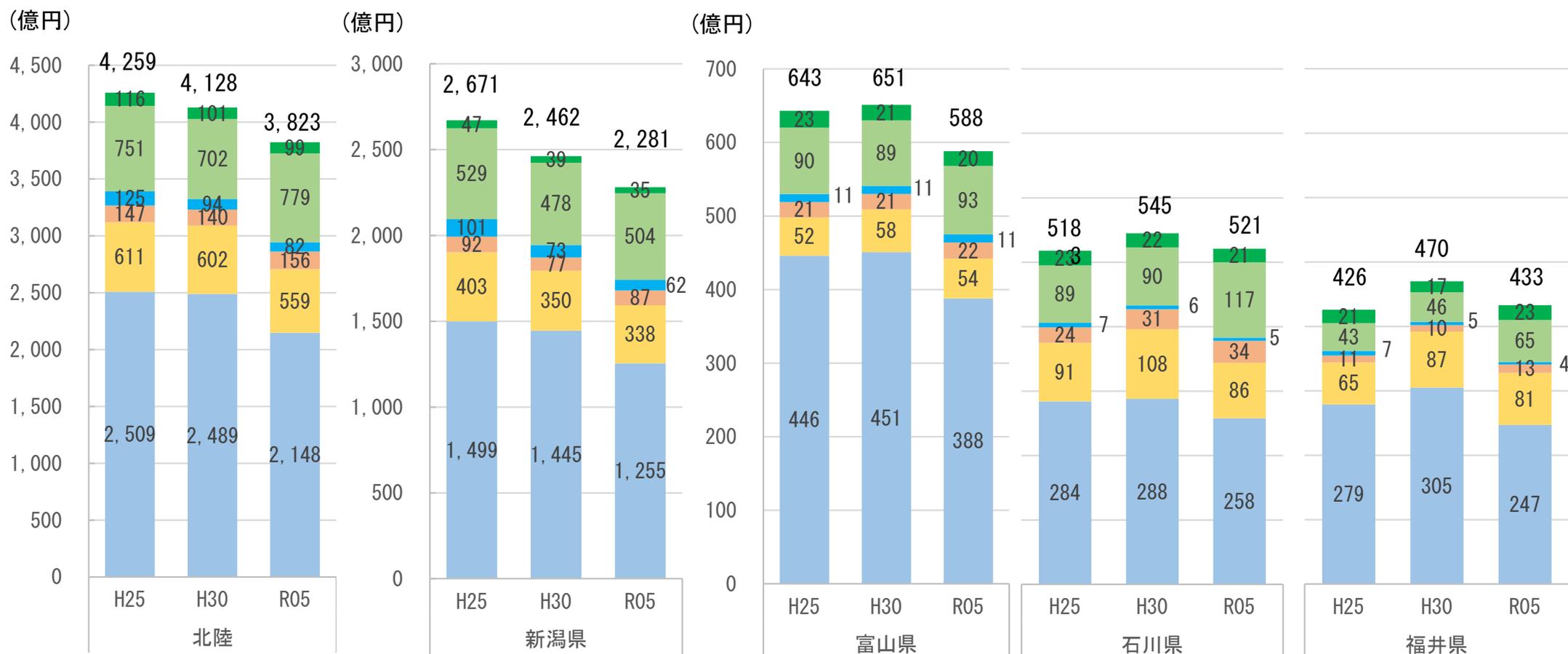
## 2. 農業生産額の動向

○北陸地域の令和5年の農業生産額は3,823億円。うち米は2,148億円(56%)と、全国平均(16%)と比べて米の占める割合が非常に高く、新潟県は米の産出額が1,255億円で全国1位。

○農業産出額の県別順位は、新潟県14位、富山県42位、石川県43位、福井県44位。

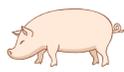
### 農業産出額の推移と内訳

■米 ■野菜 ■果実 ■花き ■畜産 ■その他



【新潟県】 令和4年農業産出額 2,369億円 全国14位

産出額上位10品目

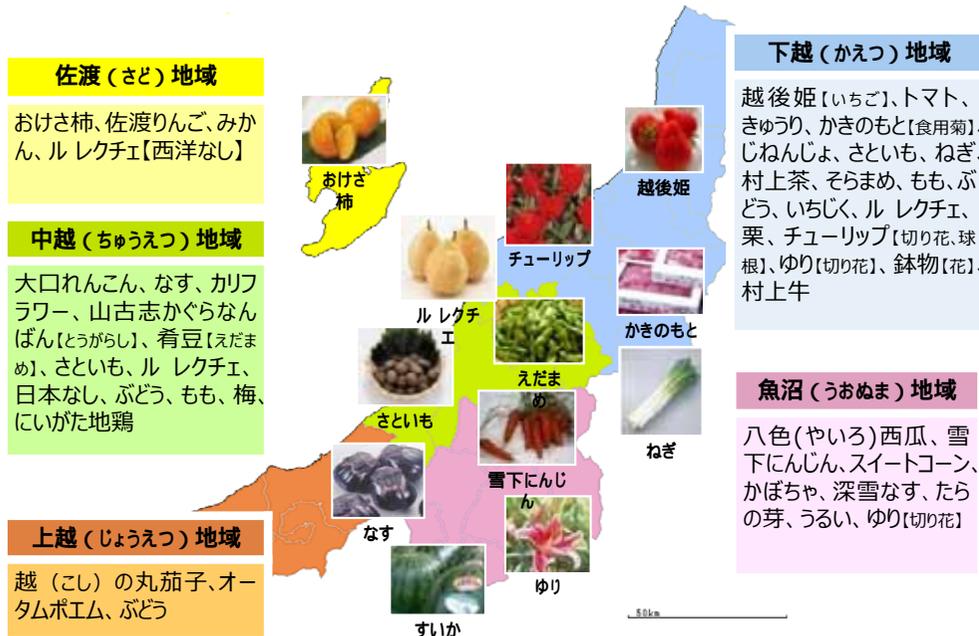
米  1,319億円 全国1位	鶏卵  218億円 全国11位	豚  131億円 全国17位	生乳  49億円 全国26位	ひな(他都道府県販売)  44億円 全国1位
肉用牛  42億円 全国35位	ブロイラー  35億円 全国19位	だいこん  33億円 全国8位	すいか  32億円 全国6位	ゆり(切り花)  29億円 全国1位

資料：令和4年 農業産出額及び生産農業所得（北陸）

地域の主な産品

県全域

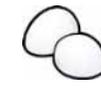
米、大豆、えだまめ、すいか、やわ肌ねぎ、アスパラガス、いちじく  
畜産：にいがた和牛、にいがた地鶏、豚



出典：新潟県農林水産部「にいがたのおすすめ食材」、新潟県HP、北陸農政局HPを基に作成

【富山県】 令和4年農業産出額 568億円 全国42位

産出額上位10品目

米  382億円 全国14位	鶏卵  31億円 全国35位	豚  18億円 全国37位	生乳  15億円 全国43位	肉用牛  14億円 全国42位
日本なし  11億円 全国18位	大豆  9億円 全国10位	たまねぎ  9億円 全国14位	トマト  8億円 全国46位	ねぎ  6億円 全国42位

資料：令和4年 農業産出額及び生産農業所得（北陸）

地域の主な産品

県全域

米、大豆、六条大麦、白ねぎ、かぶ  
畜産：とやま牛、とやまポーク



出典：富山県HP、北陸農政局HPを基に作成

【石川県】 令和4年農業産出額 484億円 全国43位

産出額上位10品目

米  235億円 全国22位	鶏卵  46億円 全国30位	すいか  23億円 全国10位	生乳  22億円 全国39位	肉用牛  17億円 全国39位
ぶどう  16億円 全国19位	豚  14億円 全国39位	かんしょ  10億円 全国10位	トマト  9億円 全国44位	日本なし  8億円 全国23位

資料：令和4年 農業産出額及び生産農業所得（北陸）

地域の主な産品

県全域

米、大豆、六条大麦、そば、すいか、メロン、かんしょ、だいこん、ねぎ、エアリーフローラ【フリージア】、ぶどう、ルビーロマン【ぶどう】

加賀地域

トマト、丸いも、イチジク、ブロッコリー、いちご、きゅうり、キウイフルーツ、こまつな、キャベツ、まこも、加賀野菜、日本なし、加賀しずく【日本なし】、ゆず、もも、りんご

(参考) 加賀野菜



さつまいも、加賀れんこん、たけのこ、加賀太きゅうり、金時草、加賀つるまめ、ヘタ紫なす、源助だいこん、せり、打木赤皮甘栗かぼちゃ、金沢一本太ねぎ、二塚からしな、赤ずいき、くわい、金沢春菊の15品目

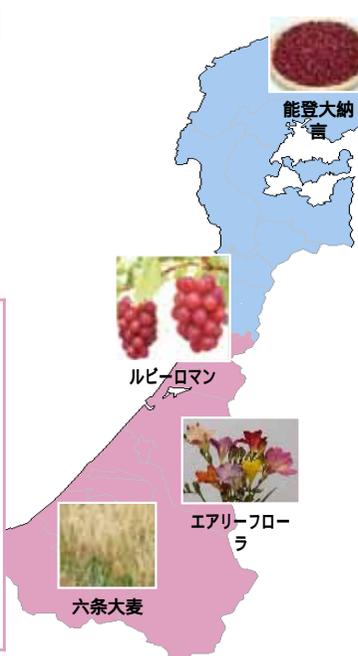
能登地域

ミニトマト、とうがん、ころ柿【干し柿】、いちご、小豆、くり、ブルーベリー、能登野菜、ギンナン、能登豚、能登牛

(参考) 能登野菜



中島菜、沢野ごぼう、金糸瓜、神子原くわい、小菊かぼちゃ、能登かぼちゃ、能登赤土馬鈴薯、能登山菜、能登白ねぎ、能登すいか、能登金時、かもり、能登ミニトマト、能登長なす、能登だいこん、能登ブロッコリー、唐川菜（からこな）の17品目



【福井県】 令和4年農業産出額 412億円 全国44位

産出額上位10品目

米  235億円 全国21位	鶏卵  35億円 全国34位	トマト  13億円 全国40位	肉用牛  9億円 全国45位	レタス  9億円 全国17位
すいか  8億円 全国17位	生乳  8億円 全国46位	ねぎ  7億円 全国40位	さといも  6億円 全13位	六条大麦  6億円 全国1位

資料：令和4年 農業産出額及び生産農業所得（北陸）

地域の主な産品

県全域

米、六条大麦、そば、大豆、大玉トマト、越のルビー【ミディトマト】、ねぎ、ブロッコリー、きく  
畜産：若狭牛、ふくいポーク、福地鶏、鶏卵

嶺南地域

うめ、イチジク、きゅうり、そらまめ、レタス、いちご、みかん

嶺北地域

だいこん、にんじん、キャベツ、ほうれんそう、すいか、メロン、かぶ、さといも、たけのこ、とみつ金時（さつまいも）、らっきょう、スイセン、小ぎく、日本なし、かき、なつめ



### 3. 北陸各県のコメ新品種

○近年、良食味で栽培のしやすい品種の育成やブランド化が全国各地で盛んに行われています。

○北陸地域でも、ここ数年の間に今までの品種に比べ優れた特徴を持った新品種として、新潟県では「新之助」、富山県では「富富富」、石川県では「ひやくまん穀」、福井県では「いちほまれ」が発表され、今後、市場における流通の拡大が見込まれています。

都道府県名	主な品種	新品種
新潟県	コシヒカリ こしいぶき ゆきん子舞	<p><b>新之助</b> (しんのすけ)</p> <p>大粒で綺麗な艶。粒感があってほぐれやすいが、粘りも強く、冷めても硬くなりやすく、香りの良さと甘み・コク、味の厚みが豊潤なおいしさを醸し出すお米。高温耐性に優れた晩生品種。</p>  <p>(新潟県HP)</p>
富山県	コシヒカリ てんたかく てんこもり	<p><b>富富富</b> (ふふふ)</p> <p>粒揃いが良く、きわだつ旨みと甘み。炊き上がりの香りと一粒一粒の艶の良さなど、豊かな旨みの広がるお米。高温耐性に優れた中生品種。</p>  <p>(富山県HP)</p>
石川県	コシヒカリ ゆめみづほ 能登ひかり ほほほの穂	<p><b>ひやくまん穀</b> (ごく)</p> <p>大粒で、味わい・食感ともに食べごたえがあり、粒感・粘りの絶妙なバランスがとれ、時間が経っても硬さや粘りの変化が少なく、冷めても美味しいお米。コシヒカリに比べて2週間ほど収穫が遅い晩生品種。</p>  <p>(石川県HP)</p>
福井県	コシヒカリ ハナエチゼン あきさかり	<p><b>いちほまれ</b></p> <p>コシヒカリを超える米として「絹のような白さと艶」「口に広がる優しい甘さ」、「粒感と粘りの最高の調和」との評価があるバランスの良いお米。いもち病の抵抗性遺伝子を持つ晩生品種。</p>  <p>(福井県HP)</p>

## 4. 水田農業の高収益化

- 農地の9割を水田が占める北陸地域において水田農業を維持発展させるためには、野菜や花きなど、高収益が見込まれる園芸作物を導入するなどして、次世代につながる農業を展開していくことが重要です。  
このような中、水田において園芸作物を導入し、関係機関の一体となった支援により産地の拡大や農家所得の向上を目指す取り組みが始まっています。
- 北陸農政局では、関係部課等で組織する『北陸農政局水田農業高収益化推進チーム』を平成31年3月に設置し、北陸地域における、コメから野菜等の高収益作物への転換の取組を支援しています。

### 「えだまめ」を旬の味覚として全国へ ～新潟県・JAえちご上越の取組～

#### <導入経緯>

大豆と共通の機械が使用できること。また、主産地の端境期に出荷できる品種の選択、栽培体系の確立が可能なることから「えだまめ」を選定。

#### <主要な取組>

平成23年、JAが県単事業を活用し引き抜き機、ハーベスタ、脱莢機を導入して生産者に貸し出し。また、平成28年には作業効率の向上を目的に枝豆コンバインを導入。これにより、作付面積が急速に拡大。

また、販売専門の職員を配置し、実需者との交渉力を向上することにより、生産者の所得を確保。

#### <取組の成果>

JAによる収穫機等の導入・生産者への貸し出し等により栽培面積が拡大。導入前の平成22年の栽培面積16.8haから年々増加し、令和2年は59ha。

また、白毛と茶豆系統の品種の組み合わせによって、主産地の出荷最盛期をさけて出荷することが可能となり、販売単価の維持、農家所得の向上に寄与。



機械による収穫作業

### 水田単作地帯から「たまねぎ」加工産地への発展 ～富山県・JAとなみ野の取組～

#### <導入経緯>

主穀作（米・麦・大豆）のほかの収入の柱として、主穀作との作業の重複期間がなく機械化が可能で、主産地の端境期に出荷できるなどの理由から「たまねぎ」を選定。

#### <主要な取組>

取組当初は、JAが定植機や収穫機等を導入した上で農業者に貸し出し等を行い、機械化一貫体系の構築に寄与。

また、北陸地域初となるたまねぎ専用の定温乾燥施設、選別施設、貯蔵施設を整備し、安定出荷を実現。

#### <取組の成果>

取組を開始した平成21年の栽培面積8haから大幅に増加し、令和2年は175ha。

北陸地域を代表する産地に成長し、農家所得の向上に大きく寄与。



機械による収穫作業



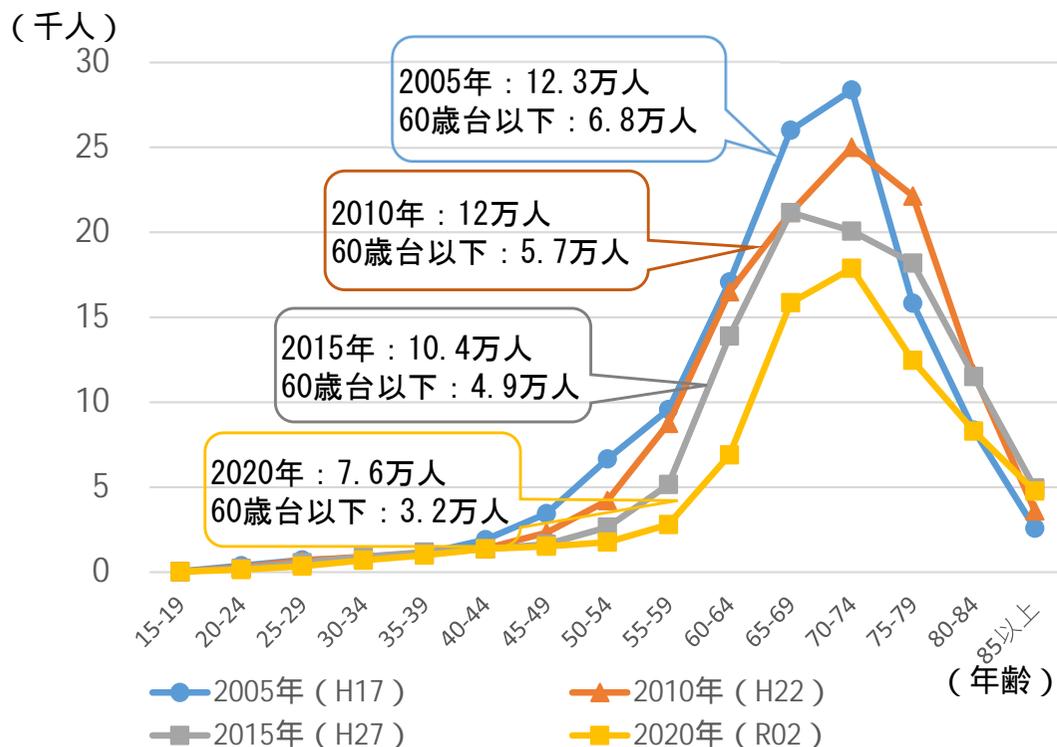
選果作業

### 3. 担い手と集落営農の状況

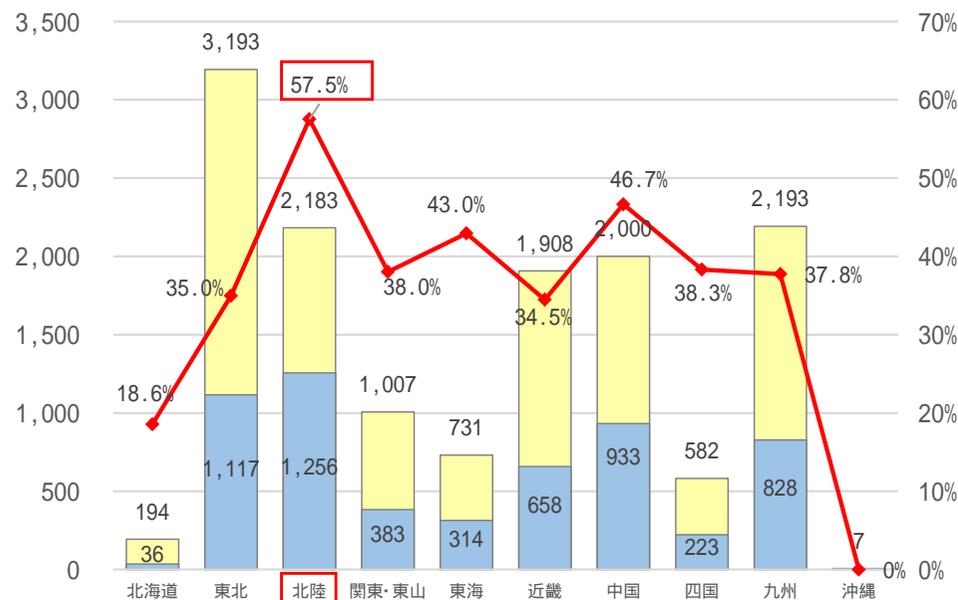
○2020年(R2)の北陸地域の基幹的農業従事者数は7.6万人。2005年から2020年に38.2%減少し、年2.5%の減少スピードとなっています。

○一方で、令和6年の集落営農数は2,183集落と、東北・九州に次いで多くなっています。集落営農に占める法人の割合は58%と、全国平均の41%と比べて高く、法人化が進んでいます。

基幹的農業従事者の年齢構成の推移（北陸）



農業地域別の集落営農数及び集落営農に占める法人の割合



出典：「令和6年度集落営農実態調査（令和6年2月1日現在）」

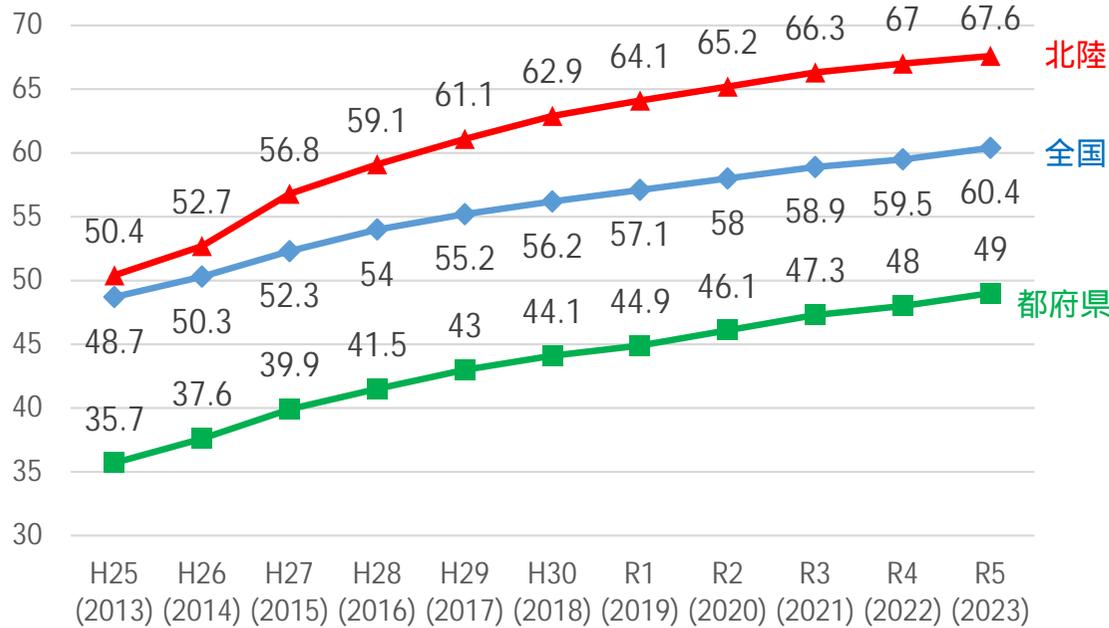
資料：農林水産省「農林業センサス」

注：基幹的農業従事者：販売農家の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者。（家事や育児が主体の主婦や学生等は含まない。）

## 4. 農地利用集積の状況

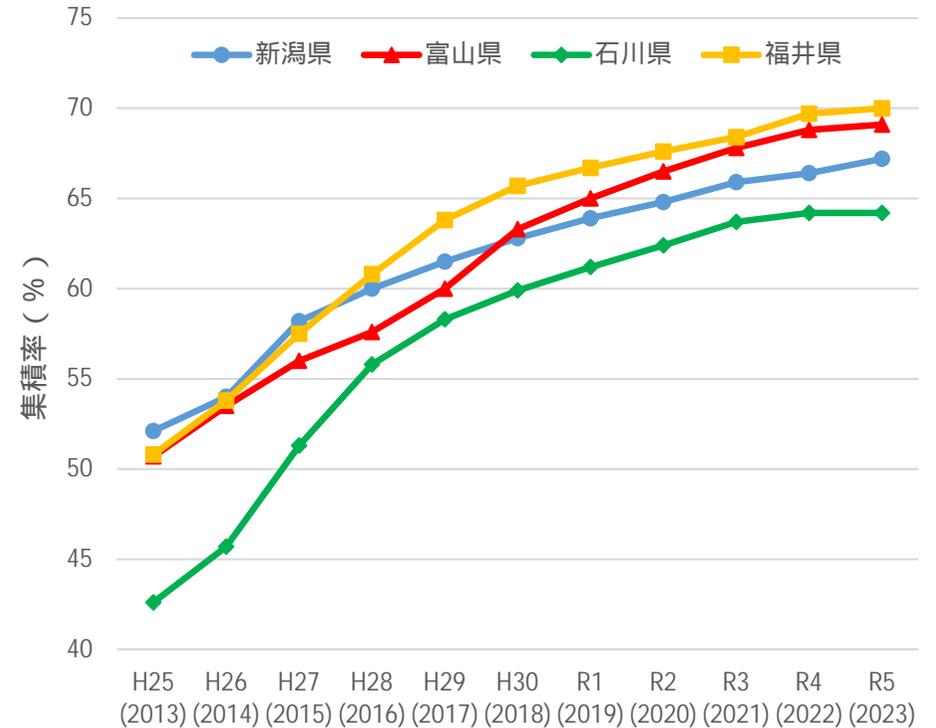
- 令和5年度の担い手への農地利用集積率(耕地面積に占める割合)は68%で、全国平均(60%)と比べて高くなっています。
- 県別に見ると、福井県70%、富山県69%、新潟県67%、石川県64%となっています。

担い手の農地利用集積率の推移（北陸）



出典：北陸農政局「農地中間管理機構の実績等について」

担い手の農地利用集積率の推移（県別）



※石川県は、令和6年1月1日に発生した能登半島地震による影響を踏まえ、令和4年度の実績を据え置き

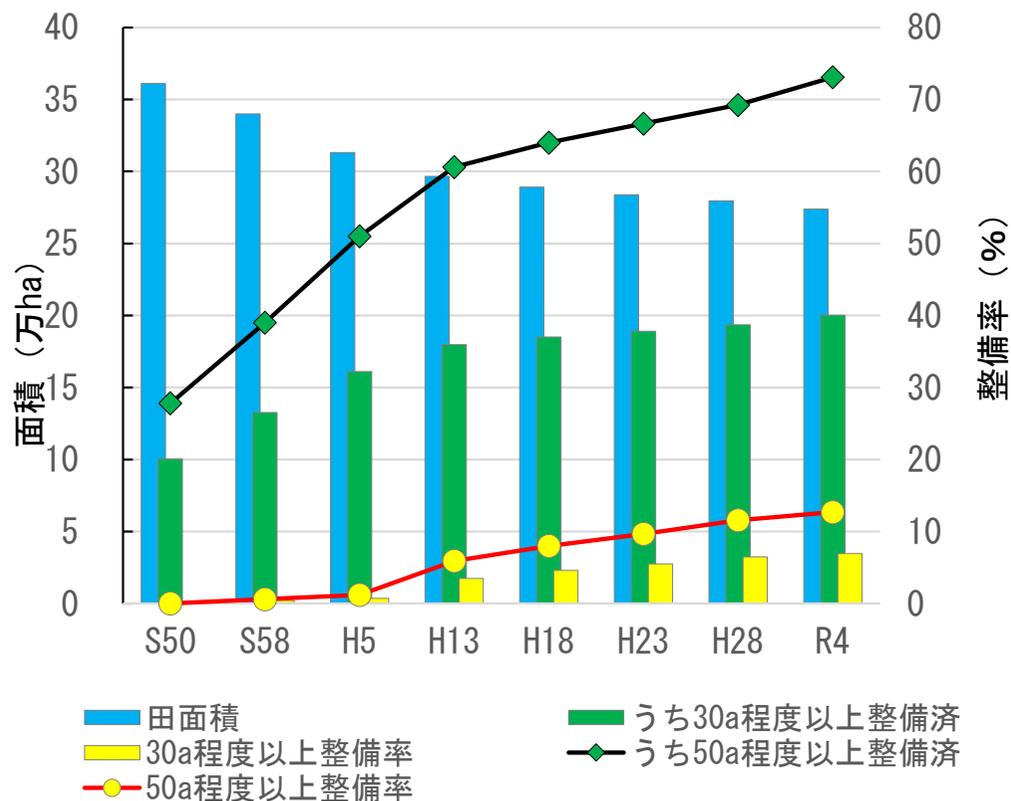
## 2. 北陸管内の農業農村整備事業の課題と取組

---

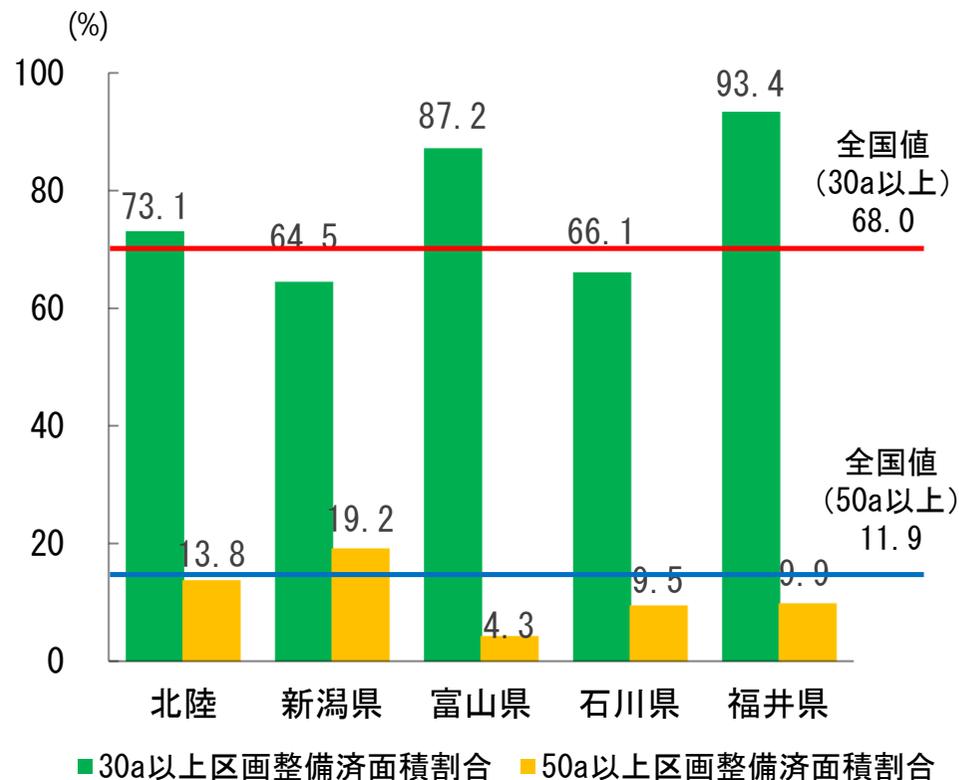
# 1. 農地集積を加速化する大区画化等の整備

- 水田の30a以上区画整備済率は73%で、全国平均(68%)を上回っています。県別では福井県(93%)、富山県(87%)が高くなっています。また、50a以上区画整備済率は、新潟県が19%と、全国平均(12%)を上回っています。
- 担い手への農地の集積・集約化や生産コストの削減を進め、農業の競争力を強化するため、農地の大区画化等を引き続き推進する必要があります。

水田の整備状況の推移（北陸）



水田区画整備済面積率（県別）



資料：「耕地及び作付面積統計」（令和4年3月時点）  
北陸農政局調べ(令和4年3月時点)

## 2. 排水が良好でない水田の整備

- 北陸地域は、耕地面積の90%が水田であり、30a程度以上の区画整備済みの水田であっても29%が排水不良。
- 水田における麦・大豆をはじめ園芸作物など付加価値の高い多様な作物の生産拡大を図るため、地域排水の維持保全と併せて、水田の排水改良を一層の推進することが必要です。

### 区画整備済みの水田の29%が排水不良

#### ○北陸管内の水田の整備状況

H30 時点	耕地面積 (ha)	田面積 (ha)	30a程度以上区画整備済面積				50a以上 区画整備済面積		
			割合(%)	(ha)	割合(%)	排水不良 (ha)	割合(%)	(ha)	割合(%)
全国	4,419,000	2,405,000	54	1,585,500	66	486,500	31	253,800	11
北陸	310,000	277,500	90	196,400	71	57,400	29	34,800	13
新潟県	170,100	150,900	89	93,600	62	22,700	24	26,700	18
富山県	58,410	55,800	96	47,700	85	14,200	30	2,000	4
石川県	41,240	34,300	83	21,400	62	9,800	46	2,600	8
福井県	40,250	36,500	91	33,700	92	10,600	31	3,500	10

資料:「耕地及び作付面積統計」(平成30年7月15日時点)及び北陸農政局調べ(平成30年3月31日時点)

注1:排水不良とは、「概ね4時間雨量4時間排除の地表排水条件を有し、かつ地下排水条件の良好(70cm以深)な田」を除く田をいう。

注2:排水不良の割合は、30a程度以上区画整備済面積に対する排水不良面積の割合である。

注3:掲載している数値については、四捨五入を行っているため、合計と内訳の積み上げが一致しない場合がある。

### 乾田化は麦・大豆や園芸作物等の 生産拡大の基礎条件

#### ○暗渠排水により園芸作物等の生産を拡大



暗渠配管の埋設

### 常時排水地域の多い新潟県では地域排水の維持保全が重要

新潟県白根郷内の断面イメージ図



ねぎの作付



えだまめの作付

### 3. 農業水利施設の老朽化の進行と維持管理費の低減

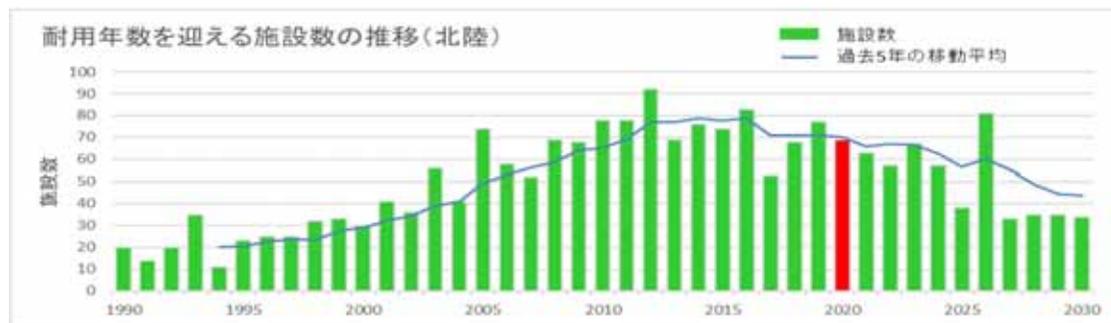
- 北陸地域の基幹農業水利施設のストック量(再建設費)は、全国の15%を占め、耕地面積が全国の7%に対し、水利施設のストック量が多い。特に、新潟県は農地の大宗を低平地が占めることから、揚・排水機場のストック量が多い。
- 北陸地域の再建設費2兆8千億円のうち標準耐用年数を超過した基幹的水利施設は約9千億円(33%)で、全国(26%)に比べて老朽化施設の割合が高い。特に、全国2位のストック量を抱える新潟県ではその割合(42%)が高く、その対応が急がれます。

#### 大規模かつ老朽化した水利施設が多い

○新潟県の再建設費は北海道(33,500億円)に次いで2番目に多い。

H30 時点	耕地面積 (ha)	基幹農業水利施設ストック量			
		貯水池等 (箇所)	農業用水 路(km)	再建設費 (億円)	うち耐用年数を超過
全国	4,420,000	7,582	51,154	192,748(100%)	50,086 (26%)
北陸	310,000	858	5,170	28,181(15%)	9,360 (33%)
新潟	170,100	604	2,743	16,471(9%)	6,978 (42%)
富山	58,400	72	1,176	4,708(2%)	1,130 (24%)
石川	41,200	102	466	2,676(1%)	562 (21%)
福井	40,200	80	785	4,325(2%)	690 (16%)

出典：耕地面積「耕地及び作付面積統計（平成30年7月時点）」、基幹水利施設ストック量「農業基盤情報基礎調査」（平成30年3月時点）



注：施設数とは、受益面積が100ha以上ある施設  
貯水池・頭首工・水門・管理施設・機場は一箇所を一施設、水路・集水渠は一条の路線を一施設。北陸農政局調べ

#### 老朽化した水利施設の更新整備事例

頭首工堤体の洗掘  
手取川流域地区(石川県)

〔事業実施前〕



〔事業実施後〕



排水機場ポンプ羽根の損傷  
新川流域地区(新潟県)

〔事業実施前〕



〔事業実施後〕



# 北陸農政局管内 国営事業の実施状況

○北陸農政局管内の国営事業は、国営かんがい排水事業7地区、国営総合農地防災事業1地区、国営農地再編整備事業1地区、直轄地すべり対策事業1地区を実施しています。令和6年度当初予算額は、150億円となっています。

## 国営かんがい排水事業(7地区)

農業用排水施設等の基幹施設を整備して、農業用水の安定供給や農業上の土地利用の高度化等を図ります。

## 国営総合農地防災事業(1地区)

農地や農業用排水施設に対する災害を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定を図ります。

## 国営農地再編整備事業(1地区)

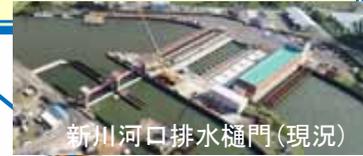
農地の再編整備により、農業生産性の向上や農業構造の改善、土地利用の秩序化等を図ります。

## 直轄地すべり対策事業(1地区)

地すべり防止区域において、農地や農業用施設を守るとともに、国土保全と安全な農村環境の実現を図ります。

### 「新川流域二期地区」

関係市町村：新潟市、燕市、西蒲原郡弥彦村  
 受益面積：19,535ha  
 事業内容：排水機場<改修>(4箇所)、排水路工



新川河口排水樋門(現況)

### 「加治川用水地区」

関係市町村：新潟市、新発田市、北蒲原郡聖籠町  
 受益面積：6,121ha  
 事業内容：ダム<改修>(内の倉ダム)、用水路工  
 水管理施設 他

### 「河北潟周辺地区」

関係市町村：金沢市、かほく市、河北郡津幡町、  
 河北郡内灘町  
 受益面積：3,145ha  
 事業内容：防潮水門1箇所、排水機場9箇所<改修>他



河北潟防潮水門(現況)

### 「新津郷用水地区」

関係市町村：新潟市、南蒲原郡田上町  
 受益面積：2,358ha  
 事業内容：揚水機場<改修>(2箇所)  
 用水路工<改修>、水管理施設<改修>

### 「新津郷排水地区」

関係市町村：新潟市、南蒲原郡田上町  
 受益面積：2,970ha  
 事業内容：排水機場<改修>(2箇所)

### 「信濃川左岸流域地区」

関係市町村：長岡市、小千谷市  
 受益面積：4,501ha  
 事業内容：頭首工<改修>(1箇所)  
 揚水機場<改修>(1箇所)  
 用水路工<改修>

### 「笹ヶ峰二期地区」

関係市町村：妙高市  
 地すべり防止区域：153ha  
 事業内容：水抜きボーリング工、集水井工、  
 排水トンネル工

### 「関川用水地区」

関係市町村：妙高市、上越市  
 受益面積：5,832ha  
 事業内容：ダム<改修>(笹ヶ峰ダム)、  
 水管理施設<改修>、小水力発電施設、  
 用水路工

### 「水橋地区」

関係市町村：富山市、滑川市、  
 中新川郡上市町  
 受益面積：614ha  
 事業内容：区画整理



工事前

工事後

### 「手取川地区」

関係市町村：金沢市、小松市、加賀市、白山市、  
 能美市、野々市市、能美郡川北町  
 受益面積：7,402ha  
 事業内容：ダム取水設備<改修>(大日川ダム)



笹ヶ峰ダム(現況)

## 4. 老朽ため池のハード整備とソフト対策の一体的な推進

- 北陸地域のため池は約8千8百箇所、そのうち防災重点ため池は約2千7百箇所。
- 防災重点ため池については、令和5年度までに全体の7%に当たる196箇所を整備または廃止済。
- 未整備の防災重点ため池の地震・豪雨及び老朽化に対するハード整備を引き続き推進するとともに、併せて防災情報伝達体制やハザードマップの整備等のソフト対策を一体的に推進していく必要があります。

### 北陸管内における防災重点ため池の整備状況

県名	ため池数 ※1	防災重点 ため池 ※2	地震・豪雨と劣化整備 (ハード)状況		地震・豪雨 に対する安 全性評価を 今後実施す るため池	廃止工事状況		ハザード マップ作成・ 公表済ため 池数
			実施済	未実施		実施済	未実施	
			新潟県	4,127		653	44	
富山県	1,809	543	42	84	141	17	28	543
石川県	2,214	1,179	23	161	98	16	16	1,179
福井県	650	370	7	73	155	14	50	370
計	8,800	2,745	116	710	605	80	158	2,745

※1: 全国のため池数約15万カ所のうち北陸管内は約8千8百カ所(5.8%)

[富山県、石川県は令和5年9月末、二県以外は令和5年12月末時点]

※2: 防災重点ため池は、「決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池」とし具体的な基準を設定。

全国の防災重点ため池数約5万2千カ所のうち北陸管内は約2千7百カ所(5.2%) [令和6年3月末時点]

注: 未実施(着手済含む)や今後実施については、令和12年度までに予定されているため池数

### 北陸管内のため池の老朽化の例

豪雨対策が未実施のため、堤体天端から溢水



堤体の劣化により、豪雨時に崩落



### ソフト対策を一体的に推進

- 各地域において防災重点ため池の情報伝達訓練や点検を実施

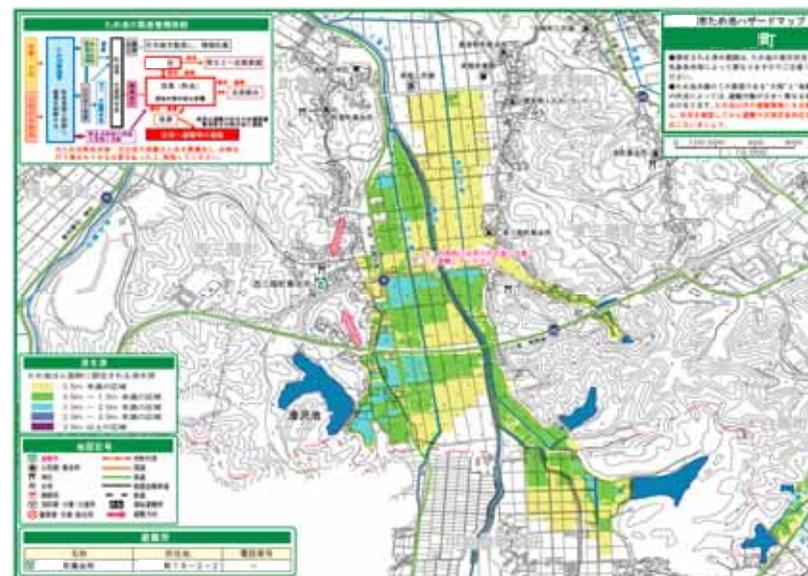


点検状況



広報車巡回

- ハザードマップ(例)

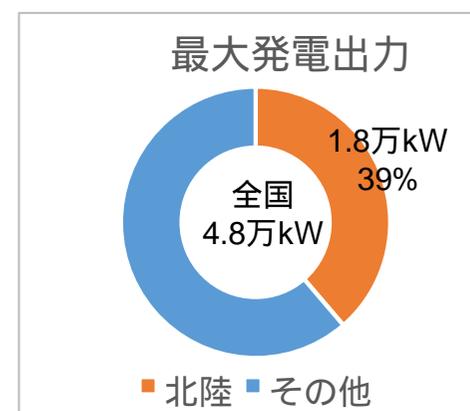
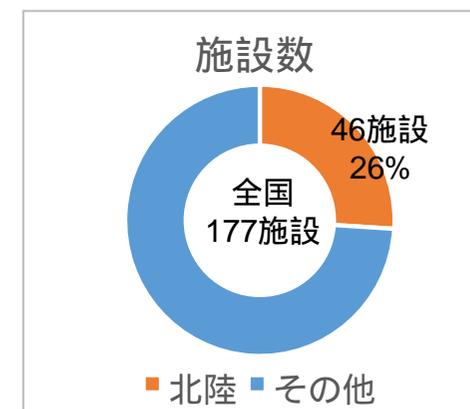


## 5. 農業用水を活用した小水力発電の推進

- 北陸地域では、豊富な水量と急峻な地形勾配を活かして、農業農村整備事業により46施設(全国177施設の26%)、最大発電出力1.8万kw(全国4.8万kWの39%)の小水力発電施設を設置し、積極的に取り組んできました。
- 小水力発電施設の整備により、クリーンエネルギーを確保しつつ、土地改良施設の維持管理費の軽減が求められています。

### 北陸管内での小水力発電施設の設置状況

県	施設数 最大出力計	施設概要
新潟県	7 6,253kW	加治川沿岸(新発田市, 2900kW)、五城(南魚沼市, 1100kW)、胎内(胎内市, 960kW)、苗場(津南町, 39kW)、池平(魚沼市, 73kW)、佐渡(佐渡市, 184kW)、関川用水(妙高市, 997kW)
富山県	22 8,387kW	庄川右岸(砺波市, 640kW)、愛本新(黒部市, 530kW)、打尾川(南砺市, 910kW)、庄川(砺波市, 550kW)、山田新田(南砺市, 520kW)、中野放水路(砺波市, 500kW)、鋤川(滑川市, 530kW)、小川用水(朝日町, 190kW)、芹谷野用水(射水市, 89kW)、布施川(黒部市, 258kW)、黒谷(魚津市, 450kW)、常東合口幹線(立山町, 528kW)、浦山新(入善町, 274kW)、中滝(富山市, 470kW)、庄西幹線用水(砺波市, 700kW)、舟子川(黒部市, 190kW)、三合新(砺波市, 78kW)、常西幹線(富山市, 460kW)、五位(富山市, 199kW)、外輪野(富山市, 110kW)、新田用水(富山市, 87kW)、久婦須川(富山市, 124kW)
石川県	4 1,939kW	上郷(能美市, 640kW)、中島(白山市, 630kW)、加賀三湖(小松市, 89kW)、宮竹用水(能美市, 580kW)
福井県	13 1,996kW	日野川用水(越前市, 141kW)、日野川用水右岸(越前市, 199kW)、芝原用水(福井市, 63kW, 103kW)、九頭竜川下流(あわら市, 坂井市、福井市, 180kW, 47kW, 360kW, 400kW)、高棕(坂井市, 155kW)、九ヶ江用水(福井市, 86kW)、河合春近(福井市, 76kW)、真名川用水(大野市, 42kW)、大野東部(大野市, 144kW)



令和6年3月末時点

## 6. 多様な主体による資源の保全活動を通じた地域コミュニティの形成

- 北陸地域では、農振農用地の77%において資源の保全活動(多面的機能支払交付金(農地維持支払))が取り組まれており(全国平均57%)、地域コミュニティの維持・活性化に寄与(福井1位、富山3位、新潟4位、石川8位)。
- 新潟県では、低湿地が多く地域共同による田んぼダムの取組など地域防災力を高める持続的な活動も見られます。
- これらの地域ぐるみの資源の保全活動を一層強化していく必要があります。

### 農振農用地における資源の保全活動

	活動組織数	認定農用地面積 A (千ha)	農用地面積 B (千ha)	カバー率 A/B	カバー率 全国順位
全国	26,138	2,331.0	4,116.4	57%	
北陸	2,939	226.5	300.2	75%	1
新潟県	971	126.5	168.0	75%	4
富山県	1,042	42.1	55.6	76%	3
石川県	581	26.1	38.3	68%	8
福井県	345	31.8	38.2	83%	1

北陸農政局調べ

資料: 令和5年度実施状況報告書より作成

### 地域コミュニティの活性化に寄与

本交付金の取組の有無による平均寄り合い回数の違い



資料: 2010年及び2015年の農林業センサスから作成

### (参考) 田んぼダムの活動

田んぼダムに取り組む水田の面積 (令和5年度実績)

	回答市町村数	取組面積	割合
全国	281	86,315	-
北陸	36	18,915	21.9%
新潟県	19	16,429	19.0%
富山県	5	244	0.3%
石川県	2	148	0.2%
福井県	10	2,094	2.4%

※自治体が面積を把握しているものに限る



(新潟県三条市川通北地区)

## 7. スマート農業の導入

- 令和元年度からロボット技術を活用して、超省力・高品質生産を実現するスマート農業実証プロジェクトを管内25地区で行っています。
- 新潟県関川用水地区では、スマートフォンなどの端末機器を用いて、自動給水栓や揚水機場、ゲートなどを遠隔操作することにより水管理を省力化・高度化するICTモデル事業を行っています。

### スマート農業実証プロジェクト実施地区

#### 令和元年度採択地区（実証期間：元年度～2年度）

- 1 (株) 白銀カルチャー（新潟県新潟市）【水田作】
- 2 (有) 米八（新潟県新潟市）【水田作】
- 3 (農) 高野生産組合（新潟県上越市）【水田作】
- 4 (農) 布目沢営農（富山県射水市）【水田作】
- 5 (農) 夢耕房（石川県白山市）【水田作】
- 6 (株) 若狭の恵（福井県小浜市）【水田作】
- 7 (農) エコファーム舟江（福井県鯖江市）【水田作】
- 8 田中農園（株）（福井県坂井市）【水田作】

#### 令和2年度採択地区（実証期間：2年度～3年度）

- 9 まつだい棚田バンク ほか（新潟県十日町市）【水田作】
- 10 (株) 津南アグリ（新潟県津南町）【露地野菜】
- 11 (株) JAファーム佐渡（新潟県佐渡市）【果樹】
- 12 (株) スワイン・エクステンション&コンサルティング ほか（新潟県新発田市）【畜産】
- 13 (株) グリーンパワーあおば ほか（富山県富山市）【畑作】
- 14 (株) かなき（富山県富山市）【露地野菜】
- 15 金沢農業（石川県金沢市）【畑作】
- 16 (有) 安井ファーム（石川県白山市）【露地野菜】
- 17 くらだ牧場（株）（富山県富山市）【畜産】

#### 令和3年度採択地区（実証期間：3年度～4年度）

- 18 エンカレッジファーム（株）（新潟県新潟市）【施設園芸】
- 19 (農) 富山東部球根プラント組合 ほか（富山県砺波市）【花き】
- 20 (株) アグリとくみつ ほか（石川県白山市、能美市）【畑作】
- 21 (株) 福井和郷（福井県高浜町）【施設園芸】

#### 令和4年度採択地区（実証期間：4年度～5年度）

- 22 (農) 丸山営農組合（新潟県佐渡市）【水田作】
- 23 (農) ファーム天神 ほか（富山県南砺市）【畑作】
- 24 JA金沢市砂丘地集出荷場西瓜部会ほか（石川県金沢市）【露地野菜】

#### 令和5年度採択地区（実証期間：5年度～6年度）

- 25 (有) フロンティアはら ほか（石川県羽咋市）【畑作】

### 14 農機の自動操舵等



ロボトラ

直線キープ定植・施肥機

- 水田作
- 畑作
- 露地野菜
- 施設園芸
- 花き
- 果樹
- 畜産



### 3 水管理の自動化・遠隔化



遠隔操作が可能な自動給水栓



スマートフォンの操作画面

# 大区画基盤整備 × スマート農業により大幅な省力化を実現した事例 【新潟県上越市】

## 【工夫のポイント】

- 基盤整備により標準区画を1haとし、一部で4.2ha、2.5ha、2.0haの大区画ほ場を設置。
- 事業を契機に担い手に100%集積。
- ほ場の大区画化と合わせて、更なる生産性の向上を図るため、スマート農業を実践し、各種農作業に係る労働時間を大幅に短縮。

## 【取組地域の概要】

- 位置 じょうえつし 新潟県上越市



- 主要作物
  - ・ 水稲、大豆、たまねぎ
- 主な支援施策
  - ・ 農業競争力強化農地整備事業(H29～R5)
  - ・ 農地耕作条件改善事業(R2～R4)

## スマート農業に対応した基盤整備

- 最大で4.2haの農地へ大区画化、農道幅を6.0mとして大型機械を導入。



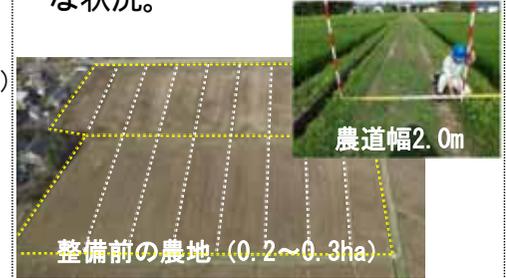
- ターン農道の設置により効率的な耕区間移動が可能に。

## 基盤整備

(H29年～R5年)

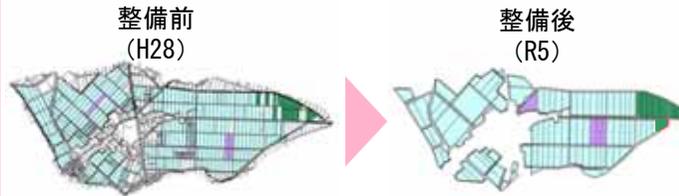
## 【整備前】

- ほ場は小区画で農道が狭いため、農作業に支障を来しており、大型機械の導入が困難な状況。



## 農地の集積

地区内の全ての農地を担い手に集積し、ほぼ100%の集約化を実現！



## 担い手

## スマート農業への取組

- 地区担い手の(農)高野生産組合が上越市などとともに、令和元年度農林水産技術会議のスマート農業実証プロジェクトに参加。



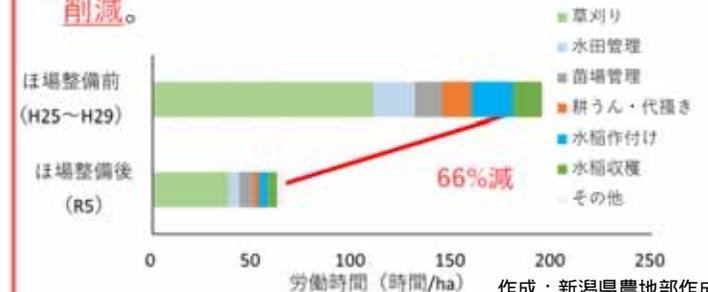
## 生産現場

## 基盤整備とスマート農業による省力化

- ICT自動給水栓により、水管理時間を79%削減。
- 直進キーptラクタにより、耕耘等の作業時間を削減。



- スマート農業対応大区画ほ場整備と、スマート農業への取組により、ほ場整備前後で労働時間を66%削減。



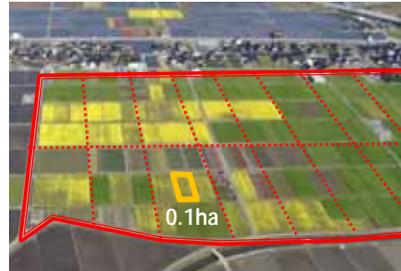
# 大区画化と農地の集積合わせて生産コストを削減した事例【富山県朝日町】

## 【対策のポイント】

- 基盤整備により、**標準区画1.0ha**の大区画ほ場を整備するとともに、これに対応した**大型機械を導入**。
- 農事組合法人への移行による経営規模の拡大や、既存法人との協力体制により、**農地の利用集積や面的集約による効率化が促進**。
- **スマート農業の導入による米の生産コスト削減を実現**。

## 農地の大区画化と作業効率の向上

基盤

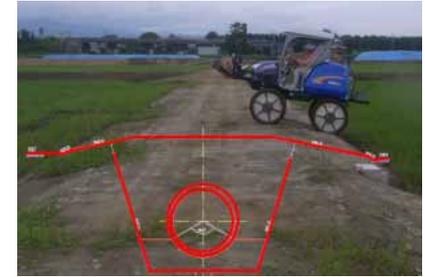


整備前(10a区画)

基盤整備  
(H23~H30)



整備後(1ha区画)



大型機械のターン農道活用状況

- 区画整理により**標準区画1.0haの農地へ大区画化**。
- 排水路の暗渠化と低段差傾斜耕作道の整備により、農機のターンが容易となり、作業効率が向上。

## 【取組地域の概要】

- 位置 **あさひまち 富山県朝日町**

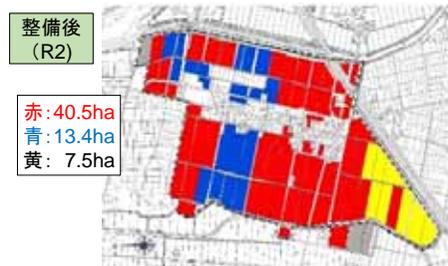
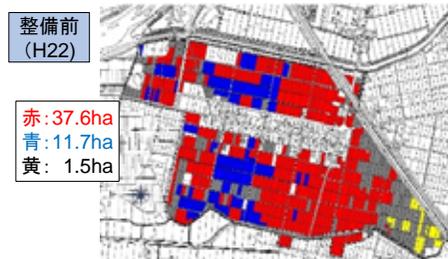


- 事業名 **県営農地整備事業(H23~H30)**
- 主要作物 **水稲、大豆、チューリップ球根**
- 受益面積 **63.3ha**
- 主要工事 **区画整理: 63.3ha、客土: 51.0ha**

地域の取組

## 農地の集積・集約化

- 事業を契機として**農事組合法人へ移行**し、既存法人と協力して地区内の営農体制を構築したことにより、**農地の集積・集約化が進展**。



対策の効果

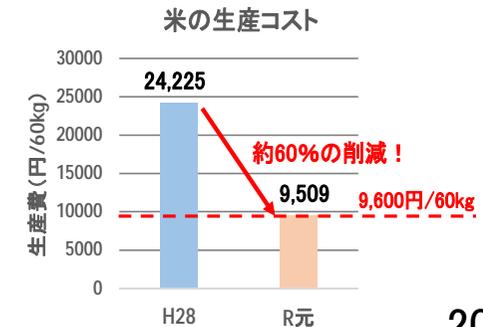
## 米の生産コストの削減

- ほ場の大区画化に伴い、**GPS付きの直進田植機や、無人ヘリコプターによる防除作業を導入**。



- さらに、**食味センサーを搭載したコンバインを積極的に導入**することで、**食味・収量・施肥量などのデータを翌年度の栽培管理に活用**。

- これらの取組みにより、**目標とする 9,600円/60kg以下を達成**。



# 令和6年能登半島地震による被災状況

令和6年能登半島地震においては、迅速な被害状況の把握や早期復旧を支援するために被災自治体へ農林水産省の職員を延べ11,219人(令和7年1月28日時点)を派遣し、農地やため池等農業用施設の被害状況調査を実施しました。

## 農地・農業用施設等の被災状況 (令和7年1月15日現在)

単位：箇所

県名	農地	農業用施設					生活環境施設		合計	その他被災施設
		ため池	頭首工	水路	揚水機	農道	集落排水	営農飲雑		
新潟県	148	6	5	442	67	105	12	2	787	橋梁：2か所 農村公園等：8か所
富山県	412	17	9	1,460	26	493	19	-	2,436	橋梁：3か所
石川県	3,621	396	90	3,456	273	2,614	75	13	10,538	農地保全施設：10か所 地すべり防止施設：20か所 海岸保全施設：118か所 など
福井県	18	1	-	42	4	16	-	-	81	



被災ため池の探査



ため池被災箇所の養生



農地の被災状況  
(輪島市)



ため池の被災状況  
(珠洲市)

# 令和6年9月豪雨による被災状況

令和6年9月20日からの大雨(新潟県においては9月18日から)により、石川県を中心に二重の被災となりました。MAFF-SATの活動として、被害状況調査のほか、奥能登地域において、今春の営農再開に向けた関係者との技術的検討及び調整のために職員を延べ659人(令和7年1月28日時点)派遣しています。

## 農地・農業用施設等の被災状況 (令和6年12月27日現在)

単位：箇所

県名	農地	農業用施設					生活環境施設		合計	その他被災施設
		ため池	頭首工	水路	揚水機	農道	集落排水	営農飲雑		
新潟県	93	-	14	55	-	17	-	-	179	地すべり防止施設：4か所
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	1,606	87	97	956	39	372	2	2	3,161	橋梁：4か所 地すべり防止施設：27か所
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	



農地の調査



農地地すべり防止区域の調査



農地の被災状況  
(輪島市)



農地の被災状況  
(糸魚川市)

# 能登半島地震対応（氷見地区の調査）

## 農業用パイプライン等の農業用施設の悉皆調査

北陸農政局水利整備課  
富山県土連、民間企業

- 富山県の氷見地区においては、地震により農業用施設への被害が発生。氷見市の要請を受け、国、県、富山県土改良事業団体連合会、民間企業の合同チームにより、国営幹線水路、県営支線水路、末端水路、農地、農道を含めた悉皆調査を実施。



合同チーム発足式（令和6年1月15日）



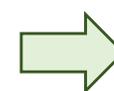
パイプラインの破損状況（氷見市）  
地震により、パイプラインが継目部分で離脱



パイプライン埋設道路の被災状況の調査

### 氷見地区における調査延長

調査対象箇所	延長
国営幹線水路	27.1km
県営支線水路	115.2km
末端水路等	822km



調査の結果、  
被災箇所は1,704か所

# 能登半島地震対応（農業集落排水施設の調査）

## 汚水処理施設の詳細点検及び管路の一次点検

北陸農政局地域整備課  
JARUS 石川県ほか40府県土連他

- 石川県内において、農業集落排水の汚水処理施設について、国、JARUS、各県土地改良事業団体連合会がチームを編成して共同で詳細点検を実施。また、管路施設についても、チームで一次調査（482km）を行い、迅速に被害を把握。

### 汚水処理施設の詳細点検及び管路施設の一次調査（1/14～2/9実施）（8市町、482km）



汚水処理施設の詳細点検



管路施設の一次調査は次の組織で構成

- ・国(地方農政局、北海道開発局)
- ・石川県土地改良事業団体連合会  
及び各府県土地改良事業団体連合会
- ・調査設計コンサルタント  
(一社)農業土木事業協会  
(公社)土地改良測量設計技術協会
- ・(一社)地域環境資源センター(JARUS)
- ・JARUS災害協定に基づく派遣市町村



点検作業の説明会(石川県土連)



管路の一次調査（マンホールの浮上）



管路の一次調査（マンホール内の確認）

# 防災・減災、国土強靱化の効果発揮事例

## 排水機場の耐震対策【石川県羽咋郡志賀町】

概要: 於古川左岸排水機場は、調査により吸水槽の耐震性が不足することが判明したため耐震補強を行った。この結果、R6.1.1能登半島地震において、志賀町は震度7を観測したが、当該施設に被害は発生しなかった。

対策名: 1-5流域治水対策(農業水利施設の整備) <5か年加速化対策>【農林水産省】

- 実施主体: 石川県
- 実施場所: 石川県羽咋郡志賀町

- 事業概要:
 

R元の調査により吸水槽の耐震性が不足することが判明したため、特殊モルタル増厚工法による耐震補強を行った。

- 事業費: 2,320万円  
(5か年加速化対策(加速化・深化分))

- 工期: R2補～R4

- 効果概要:

当該施設は地域の排水を担う重要な施設であり、ポンプの運転が停止した場合の想定被害面積は118ha、想定被害額は約8億5千万円に上る。

未対策の状態では、震度5程度の中規模地震が発生した場合でも、吸水槽が破損しポンプ場の機能が停止する恐れがあったが、耐震補強の実施により、志賀町で震度7を観測したR6.1.1能登半島地震においても当該施設の損傷はなく、被害の未然防止に寄与した。



# 防災・減災、国土強靱化の効果発揮事例

## ため池の耐震対策【石川県鹿島郡中能登町】

概要: 武部新池は、調査により堤体の耐震性が不足することが判明したため耐震補強を行った。この結果、R6.1.1能登半島地震において、中能登町は震度6弱を観測したが、当該施設に被害は発生しなかった。

対策名: 29 ため池に関する緊急対策<3か年緊急対策>【農林水産省】

- 実施主体: 石川県
- 実施場所: 石川県鹿島郡中能登町
- 事業概要:
  - H29の調査により堤体の耐震性が不足することが判明したため、押え盛土工法による耐震補強を行った。
- 事業費: 4,370万円(3か年緊急対策)
- 工期: R元~R2
- 効果概要:

当該ため池は水田24.0haにかんがいする地域の重要な用水源である一方、堤体下流には人家や国道も存在することから、万が一決壊した場合には人命や公共施設への甚大な被害が懸念される。 想定被害面積は25.7ha、想定被害額は約5,300万円に上る。

未対策の状態では、震度5程度の中規模地震が発生した場合でも決壊する恐れがあったが、耐震補強を実施したことにより、中能登町で震度6弱を観測したR6.1.1能登半島地震においても損傷はなく、被害の未然防止に寄与した。

